



第2章 世界規模で見る国際会議の動向

	本節で使用する「UIA 国際会議統計」について	14 頁
1	大陸別 国際会議の開催状況	15 頁
2	国別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	16 頁
3	国別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	17 頁
4	都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	18 頁
5	都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	19 頁

	本節で使用する「ICCA 国際会議統計」について	20 頁
6	大陸別 国際会議の開催状況	21 頁
7	国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	22 頁
8	国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	23 頁
9	都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	24 頁
10	都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	25 頁



本節で使用する「UIA 国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【UIA 国際会議統計の選定基準】

UIA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が UIA 国際会議統計に反映されます。

(1) 国際機関・国際団体 (UIA に登録されている機関・団体) の本部が主催又は後援した会議

- ① 参加者数 50 人以上
- ② 参加国数 開催国を含む 3 カ国以上
- ③ 開催期間 1 日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIA が判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1) に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

(2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議

- ① 参加者数 300 人以上（うち 40% 以上が主催国以外の参加者）
- ② 参加国数 開催国を含む 5 カ国以上
- ③ 開催期間 3 日以上

UIA では、当該年の国際会議統計の発表後も、隨時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」であるとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIA が各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIA は、1907 年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。6 万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年 6 月に発表している。

大陸別 国際会議の開催状況

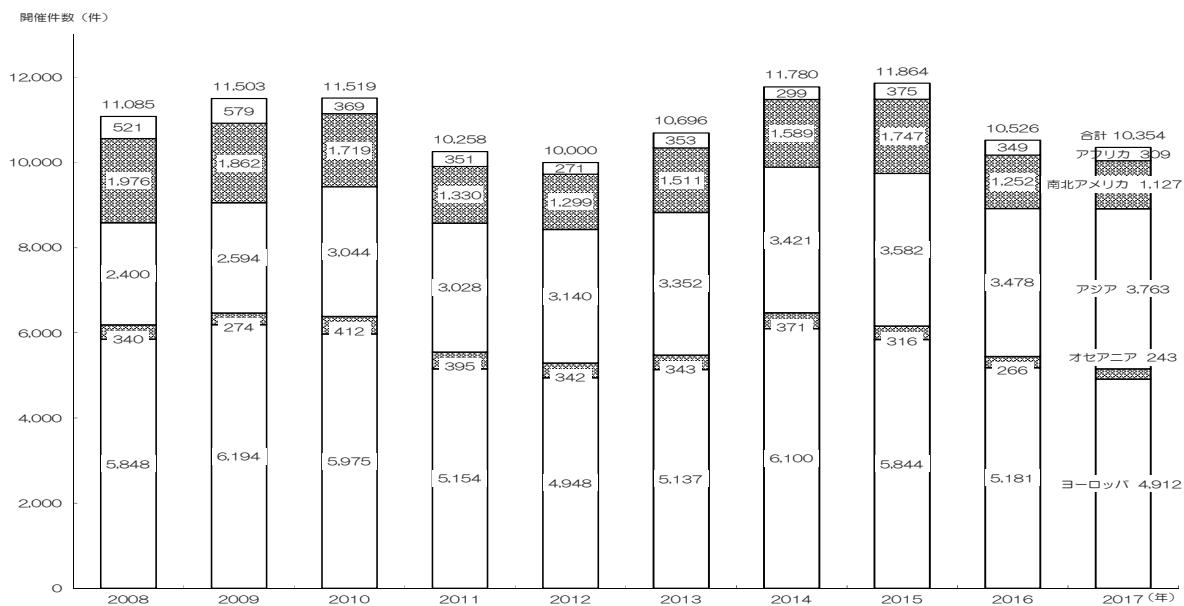
— 開催件数はアジアで増加、その他の地域で減少 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2017年の国際会議開催件数は10,354件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1位ヨーロッパ(4,912件、47.4%)、2位アジア(3,763件、36.3%)、3位南北アメ

リカ(1,127件、10.9%)、4位アフリカ(309件、3.0%)、5位オセアニア(243件、2.3%)の順であり、アジアでの開催件数の伸びが著しい。

図表2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2008年~2017年)



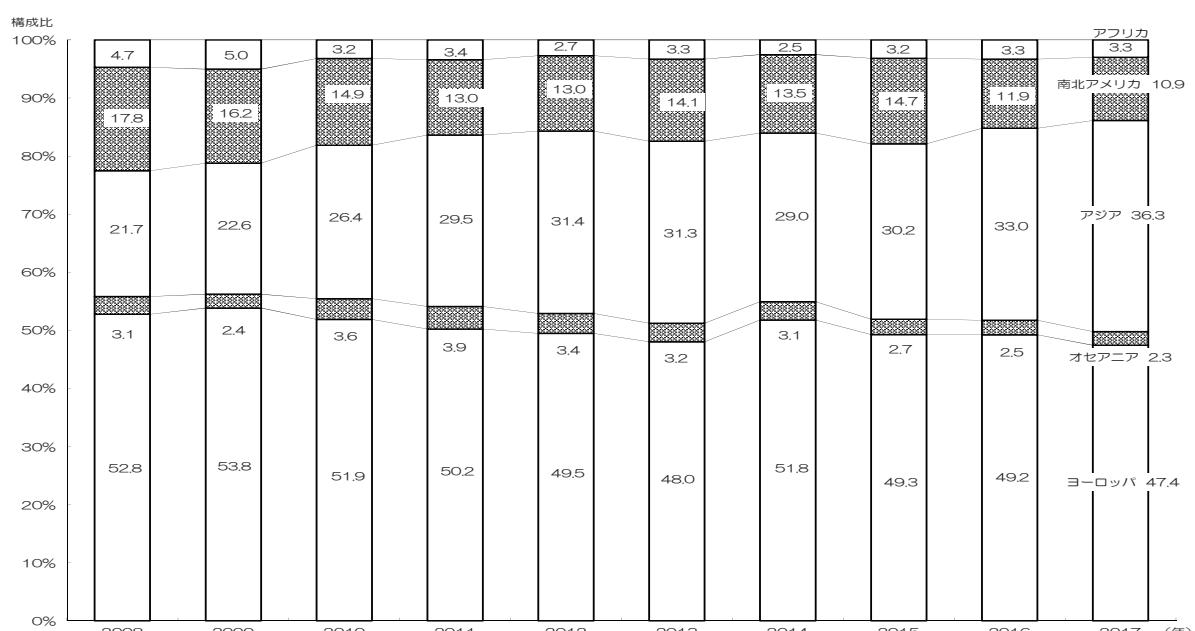
注：各年の大陸別数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づいてJNTOが算出した。

注：図表2-1の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。

UIA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

図表2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2008年~2017年)



注：各年の大陸別数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づいてJNTOが算出した。

注：図表2-2の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。

UIA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

国・地域別 国際会議の開催状況 ①(世界全体での比較)

— 上位 10 力国のうち4力国が前年比増 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2017 年の国際会議開催件数を国別で見ると、1 位韓国(1,297 件)、2 位シンガポール(877 件)、3 位ベルギー(810 件)、4 位オーストリア(591 件)、5 位アメリカ(575 件)、6 位日本(523 件)、7 位スペイン(440 件)、8 位フランス(422 件)、9 位ドイツ(374 件)、10 位タイ(312 件)の順であった。

これら上位 10 カ国の中で、前年に比べて国際会議開催件数が増えた国は、韓国(300 件増)、オーストリア(187 件増)、タイ(33 件増)、スペイン(17 件増)、減った国は、ベルギー(143 件減)、アメリカ(127 件減)、フランス(101 件減)、ドイツ(16 件減)、シンガポール(11 件減)であった。

图表2-3 国・地域別 国際会議の開催件数(世界全体)(2008年~2017年)<2017年上位30位を抜粋>

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
韓国	293	347	464	469	563	635	636	891	997	1,297
シンガポール	637	689	725	919	952	994	850	736	888	877
ベルギー	383	470	597	533	597	505	851	737	953	810
オーストリア	315	421	362	390	458	398	539	383	404	591
アメリカ	1,079	1,085	936	744	658	799	858	929	702	575
日本	575	538	741	598	731	588	625	634	523	523
スペイン	467	365	572	386	449	505	513	480	423	440
フランス	797	632	686	557	494	408	561	590	523	422
ドイツ	440	555	499	421	373	428	439	472	390	374
タイ	64	131	82	126	89	84	280	300	279	312
イギリス	349	347	375	293	272	349	355	354	266	307
カナダ	267	229	221	186	228	213	228	285	165	242
スイス	232	336	322	219	166	216	328	258	234	228
オランダ	428	458	329	299	177	282	350	340	332	218
アラブ首長国連邦	42	57	85	103	84	99	153	157	185	197
オーストラリア	273	227	356	329	287	283	287	253	197	183
ポルトガル	159	194	145	160	142	136	150	204	189	181
イタリア	413	391	357	269	262	294	330	385	183	163
デンマーク	141	162	130	126	175	98	142	151	134	154
スウェーデン	124	246	161	161	165	118	189	129	152	152
フィンランド	168	166	152	159	160	164	169	156	166	151
ノルウェー	145	151	172	169	164	172	149	164	135	132
中国(香港、マカオ除く)	216	173	236	200	155	210	193	144	131	108
マレーシア	83	71	100	125	141	137	103	204	98	90
南アフリカ共和国	101	112	67	91	78	114	104	111	134	80
インド	131	138	164	103	90	87	79	88	72	71
チェコ	103	199	82	65	67	96	79	89	56	60
メキシコ	108	85	99	83	61	63	75	87	66	57
ブラジル	114	106	90	80	114	106	101	106	72	54
ポーランド	106	114	74	114	63	118	94	119	81	52

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

国・地域別 国際会議の開催状況 ②(アジア・オセアニア域内の比較)

— 上位 10 力国・地域では韓国・タイが前年比増 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2017 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1 位韓国(1,297 件)、2 位シンガポール(877 件)、3 位日本(523 件)、4 位タイ(312 件)、5 位オーストラリア(183 件)、6 位中国(香港、マカオ除く)(108 件)、7 位マレーシア(90 件)、8 位インド(71 件)、9 位インドネシア(40 件)、10 位香港(39 件) の順であった。

これら上位 10 か国・地域の中で、前年に比べて国際会議開催件数が増えた国は、韓国(300 件増)、タイ(33 件増)、減った国・地域は、香港(28 件減)、中国(香港、マカオ除く)(23 件減)、インドネシア(14 件減)、オーストラリア(14 件減)、シンガポール(11 件減)、マレーシア(8 件減)、インド(1 件減) であった。

図表2-4 国・地域別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2008年~2017年)〈2017年開催件数10件以上を抜粋〉

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
韓国	293	347	464	469	563	635	636	891	997	1,297
シンガポール	637	689	725	919	952	994	850	736	888	877
日本	575	538	741	598	731	588	625	634	523	523
タイ	64	131	82	126	89	84	280	300	279	312
オーストラリア	273	227	356	329	287	283	287	253	197	183
中国(香港、マカオ除く)	216	173	236	200	155	210	193	144	131	108
マレーシア	83	71	100	125	141	137	103	204	98	90
インド	131	138	164	103	90	87	79	88	72	71
インドネシア	31	59	48	53	47	85	61	71	54	40
香港	55	43	54	46	62	112	41	49	67	39
ニュージーランド	44	31	38	37	34	32	55	35	47	37
フィリピン	39	40	41	39	24	44	34	49	26	34
台湾	38	37	67	54	44	58	57	43	32	30
ベトナム	26	37	44	17	31	32	25	26	10	15
スリランカ	6	11	6	10	10	10	12	8	19	12

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：図表 2-4 で取り上げた「アジア」の領域は、北東アジア、東南アジア、南アジアのみに限定しており、中央アジア、コーカサス、中東は含まれていない。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

都市別 国際会議の開催状況 ①（世界全体での比較）

— 昨年2位のシンガポールが1位に返り咲き —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2017 年の国際会議開催件数を都市別で見ると、1 位シンガポール（877 件）、2 位ブリュッセル（763 件）、3 位ソウル（688 件）、4 位ウィーン（515 件）、5 位東京（269 件）、6 位パリ（268 件）、7 位バンコク（232 件）、8 位釜山（212 件）、9 位ベルリン（198 件）、10 位バルセロナ（193 件）の順であった。

これら上位 10 都市の中で、前年に比べて国際会議開催件数が増えた都市は、ウィーン（211 件増）、ソウル（162 件増）、釜山（60 件増）、東京（44 件増）、バンコク（21 件増）、バルセロナ（11 件増）、ベルリン（1 件増）、減った都市は、ブリュッセル（143 件減）、パリ（74 件減）、シンガポール（11 件減）であった。

図表2-5 都市別 国際会議の開催件数（世界全体）（2008 年～2017 年）〈2017 年上位 30 位を抜粋〉

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
シンガポール	637	689	725	919	952	994	850	736	888	877
ブリュッセル	299	395	486	464	547	436	787	665	906	763
ソウル	125	151	201	232	253	242	249	494	526	688
ウィーン	249	311	257	286	326	318	396	308	304	515
東京	150	134	190	153	225	228	228	249	225	269
パリ	419	316	394	336	276	180	325	362	342	268
バンコク	42	81	61	88	65	55	189	242	211	232
釜山	60	41	93	82	50	148	132	150	152	212
ベルリン	84	171	165	149	89	89	167	215	197	198
バルセロナ	193	148	193	150	150	195	193	187	182	193
ロンドン	103	125	164	105	119	144	125	126	98	166
マドリッド	85	61	175	116	149	165	200	140	159	159
ジュネーブ	102	183	189	121	90	126	173	172	162	158
モントリオール	55	77	77	60	77	82	74	108	71	146
済州島	44	61	67	68	78	82	85	112	116	139
リスボン	98	115	91	96	93	72	106	147	142	135
コペンハーゲン	104	127	102	105	150	65	120	117	111	131
ドバイ	28	32	56	74	67	75	136	128	158	120
ストックホルム	59	159	92	109	113	48	112	87	112	113
ヘルシンキ	79	76	73	70	102	84	102	90	121	108
アムステルダム	99	126	131	118	60	114	167	125	155	98
シドニー	97	81	137	103	103	124	120	107	72	76
アブダビ	9	23	27	26	16	21	15	24	24	75
仁川	2	26	22	24	25	25	30	19	53	66
リヨン	67	52	52	48	61	55	50	52	46	65
ワシントン	79	83	71	59	41	46	62	66	81	62
オスロ	55	69	64	74	69	87	67	79	59	59
ニューヨーク	67	95	127	49	40	52	77	75	68	57
クアラルンプール	55	49	61	70	88	84	50	140	60	54
プラハ	79	170	64	54	62	80	65	74	55	54

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

都市別 国際会議の開催状況 ② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 上位 10 都市のうち 8 都市が前年比増 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2017 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、1 位シンガポール (877 件)、2 位ソウル (688 件)、3 位東京 (269 件)、4 位バンコク (232 件)、5 位釜山 (212 件)、6 位済州島 (139 件)、7 位シドニー (76 件)、8 位仁川 (66 件)、9 位クアラルンプール (54 件)、10 位大邱 (43 件) の順であった。

これら上位 10 都市の中で、前年に比べて国際会議開催件数が増えた都市は、ソウル (162 件増)、釜山 (60 件増)、東京 (44 件増)、済州島 (23 件増)、バンコク (21 件増)、仁川 (13 件増)、大邱 (8 件増)、シドニー (4 件増)、減った都市は、シンガポール (11 件減)、クアラルンプール (6 件減) であった。

図表2-6 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2008 年～2017 年) <2017 年上位 30 位を抜粋>

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
シンガポール	637	689	725	919	952	994	850	736	888	877
ソウル	125	151	201	232	253	242	249	494	526	688
東京	150	134	190	153	225	228	228	249	225	269
バンコク	42	81	61	88	65	55	189	242	211	232
釜山	60	41	93	82	50	148	132	150	152	212
済州島	44	61	67	68	78	82	85	112	116	139
シドニー	97	81	137	103	103	124	120	107	72	76
仁川	2	26	22	24	25	25	30	19	53	66
クアラルンプール	55	49	61	70	88	84	50	140	60	54
大邱	5	8	8	20	25	24	18	14	35	43
香港	50	40	54	45	62	112	41	49	67	39
京都	34	39	61	48	84	52	56	56	53	36
横浜	68	54	82	84	80	51	50	31	36	32
メルボルン	67	39	92	99	75	73	62	46	36	31
北京	75	80	79	90	80	66	73	42	56	30
チェンマイ	5	6	2	13	11	4	17	17	28	28
デリー	49	57	57	36	37	30	22	30	26	28
大田	14	23	18	10	30	27	30	28	15	27
ブリスベン	26	33	35	24	38	19	28	20	17	23
マニラ	24	21	24	24	15	22	21	35	15	23
台北	31	23	57	38	36	39	38	35	25	21
オークランド	18	10	15	18	11	17	34	21	25	20
アテレード	17	13	14	14	14	8	17	13	19	18
慶州	6	1	9	4	5	7	7	9	17	18
上海	48	34	63	33	18	57	28	26	27	16
成都	9	6	11	3	5	8	9	4	9	15
浦項	-	-	1	2	8	3	9	1	9	15
バリ島	7	20	17	28	17	37	21	30	35	14
名古屋	11	18	29	32	26	24	28	22	14	14
高陽	1	2	7	3	9	12	12	6	11	13
札幌	24	28	31	20	21	15	20	19	10	13
ブーゲット	2	15	10	11	5	4	24	5	9	13
ジャカルタ	8	13	10	11	10	14	16	21	8	13
城南	-	-	-	-	-	1	-	2	3	13

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：図表 2-6 で取り上げた「アジア」の領域は、北東アジア、東南アジア、南アジアのみに限定しており、中央アジア、コーカサス、中東は含まれていない。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

本節で使用する「ICCA 国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【ICCA 国際会議統計の選定基準】

ICCA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議がICCA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50 名以上
- (2) 開催期間：定期的に開催（1 回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3 カ国以上で会議のローテーションがある
(2 カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、隨時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。

本節では、2018 年 11 月における過去 10 年の暫定値を掲載しています。

ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCA は、1963 年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。

約 100 カ国の 1,000 以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。
「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

6

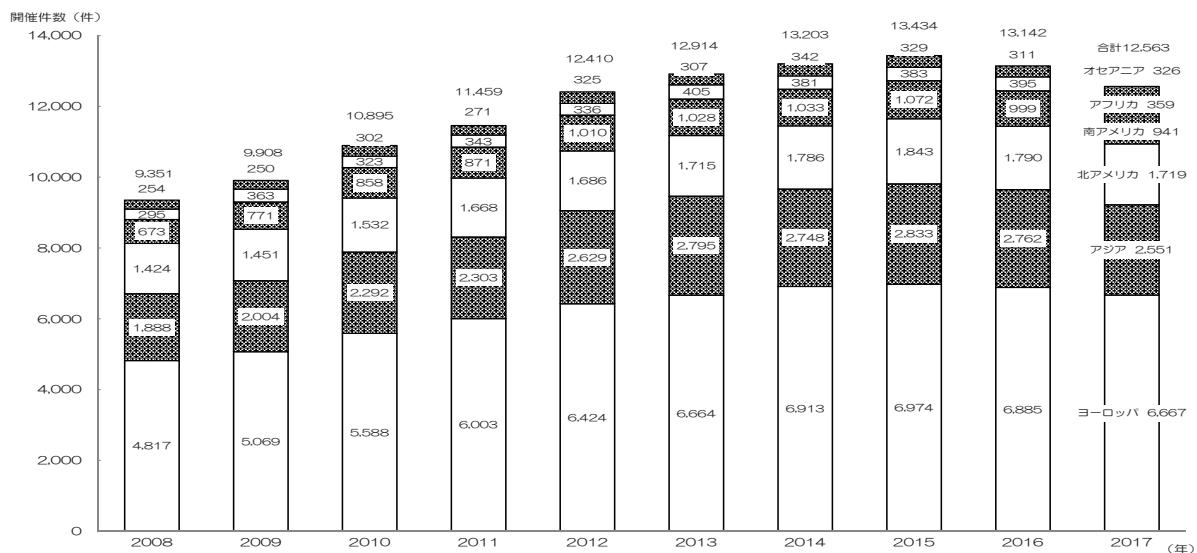
大陸別 国際会議の開催状況 — ヨーロッパのシェアが過半 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2017年の国際会議開催件数は12,563件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1位ヨーロッパ(6,667件、53.1%)、2位アジア(2,551件、20.3%)、3位北アメリカ

(1,719件、13.7%)、4位南アメリカ(941件、7.5%)、5位アフリカ(359件、2.9%)、6位オセアニア(326件、2.6%)の順であり、ヨーロッパの割合が53.1%と過半を占めている。

図表2-7 大陸別 国際会議の開催件数 (2008年~2017年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」

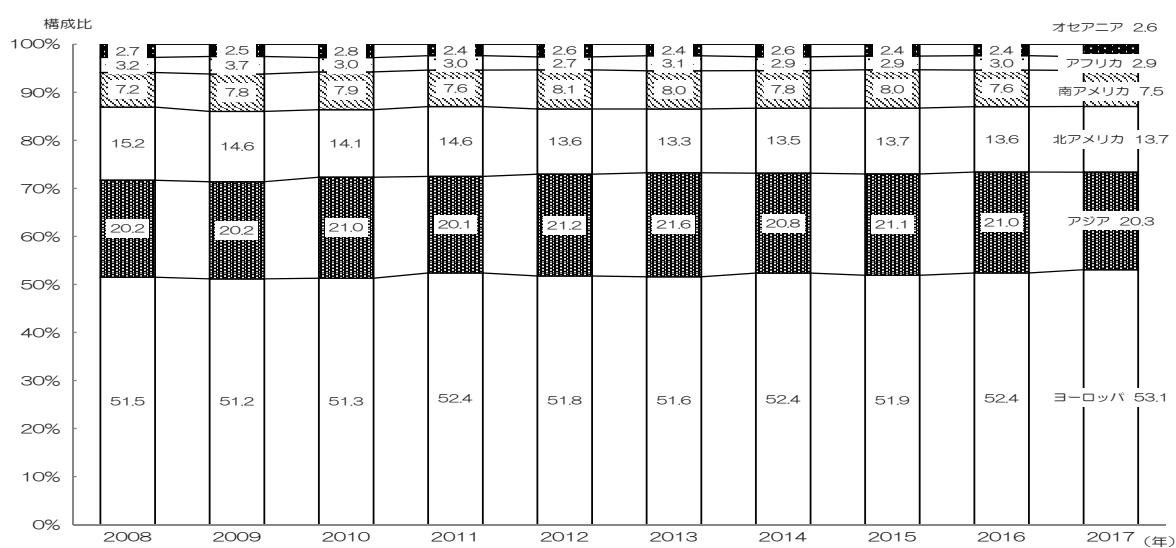
注：図表2-7の大陸別区分は、法務省出入国管理統計の地域別区分に基づいて、JNTOが分けた。

注：図表2-7の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中東の各地域が含まれている。但し、中央アジア、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には2018年11月時点で把握されている暫定値を掲載した。

ICCA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

図表2-8 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2008年~2017年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」

注：図表2-8の大陸別区分は、法務省出入国管理統計の地域別区分に基づいて、JNTOが分けた。

注：図表2-8の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中東の各地域が含まれている。但し、中央アジア、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には2018年11月時点で把握されている暫定値を掲載した。

注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。

ICCA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

国・地域別 国際会議の開催状況 ①(世界全体での比較)

— 上位 30 か国・地域のうち、欧米が 3/4 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2017 年の国際会議開催件数（上位 30 位）を国別で見ると、上位 6 位までを欧米が独占し、開催件数で約 74%に達するなど圧倒的なシェアを有している。

図表 2-9 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2008 年～2017 年）〈2017 年上位 30 位を抜粋〉

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
アメリカ	779	870	888	969	975	960	1,024	1,067	1,022	941
ドイツ	469	548	611	632	692	753	744	725	729	682
イギリス	411	412	516	511	556	613	629	659	624	592
スペイン	404	384	505	493	550	535	574	582	575	564
イタリア	413	483	462	460	486	524	558	570	499	515
フランス	459	421	473	487	553	590	613	584	575	506
日本	317	327	365	279	373	392	394	401	431	414
中国（香港、マカオ除く）	323	345	391	415	408	465	452	430	463	376
カナダ	288	251	277	282	304	308	289	336	303	360
オランダ	245	291	234	315	336	327	349	350	389	307
ポルトガル	178	181	210	256	228	267	233	296	311	298
オーストリア	190	226	218	277	273	247	307	265	284	281
韓国	235	210	217	237	253	297	273	297	276	279
オーストラリア	198	200	256	211	260	247	287	266	225	258
スウェーデン	181	208	225	209	266	251	266	230	273	255
ブラジル	228	247	250	285	341	308	294	324	259	237
イスラエル	201	192	243	233	243	221	247	210	208	230
ポーランド	136	141	140	198	171	194	201	216	212	216
ベルギー	168	173	221	214	233	253	225	253	219	208
デンマーク	131	163	155	157	209	187	181	223	188	203
アルゼンチン	138	156	197	162	185	203	200	189	195	199
メキシコ	169	152	178	187	183	183	200	199	208	198
チェコ	126	116	142	142	140	170	167	185	165	187
インド	107	125	120	130	168	163	138	155	153	175
タイ	103	104	87	104	158	151	133	165	181	163
シンガポール	101	86	148	153	150	173	143	160	159	160
ハンガリー	105	110	131	139	135	127	132	132	136	159
アイルランド	94	74	85	112	132	152	122	131	163	158
フィンランド	138	133	161	162	176	171	181	156	187	156
ノルウェー	112	130	131	124	165	138	128	161	152	156

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には 2018 年 11 月時点での暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

国・地域別 国際会議の開催状況 ② (アジア・オセアニア域内の比較)

— 日中韓で上位 3 位を占有 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2017 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、日本（414 件）、中国（香港、マカオ除く）（376 件）、韓国（279 件）が上位 3 位を占め、この地域におけるシェアの 4 割強を握っている。

图表 2-10 国・地域別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2008 年～2017 年) <2017 年開催件数 10 件以上を抜粋>

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
日本	317	327	365	279	373	392	394	401	431	414
中国（香港、マカオ除く）	323	345	391	415	408	465	452	430	463	376
韓国	235	210	217	237	253	297	273	297	276	279
オーストラリア	198	200	256	211	260	247	287	266	225	258
インド	107	125	120	130	168	163	138	155	153	175
タイ	103	104	87	104	158	151	133	165	181	163
シンガポール	101	86	148	153	150	173	143	160	159	160
台湾	95	118	156	160	153	149	183	150	154	141
香港	75	79	90	113	104	104	113	132	112	119
マレーシア	95	112	124	126	128	119	151	132	122	112
インドネシア	56	47	84	76	94	123	90	97	102	89
ベトナム	38	43	45	31	47	61	58	51	52	64
フィリピン	45	42	49	39	54	57	56	64	69	56
ニュージーランド	49	43	41	54	57	53	47	52	70	55
マカオ	17	16	18	13	14	19	23	25	36	39
スリランカ	4	3	13	16	20	21	27	23	25	19
ネパール	3	8	6	9	8	6	9	13	11	15
カンボジア	4	8	4	7	7	7	12	12	12	14
ミャンマー	1	1	0	0	2	7	13	8	13	13

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」

注：図表 2-10 で取り上げた「アジア」の領域は、北東アジア、東南アジア、南アジアのみに限定しており、中央アジア、コーカサス、中東は含まれていない。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には 2018 年 11 月時点での暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

都市別 国際会議の開催状況 ①（世界全体での比較）

— 上位 30 都市のうち、アジアの都市のシェアは約 2 割 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2017 年の国際会議開催件数を都市別で見ると、上位をヨーロッパの都市が占め、圧倒的な優位を保っている。

上位 30 都市の開催件数の中で、アジア・オセアニア地域が占めた割合は 21.3% であった。

図表 2-11 都市別 国際会議の開催件数（世界全体）（2008 年～2017 年）〈2017 年上位 30 位を抜粋〉

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
バルセロナ	138	124	167	160	161	173	176	182	192	195
パリ	154	134	184	196	217	230	250	206	203	190
ウィーン	111	137	163	169	180	177	209	180	194	190
ベルリン	98	115	159	144	167	171	208	199	182	185
ロンドン	100	96	135	144	182	200	196	206	166	177
シンガポール	101	86	148	153	150	173	143	160	159	160
マドリード	77	74	98	112	132	145	172	159	153	153
プラハ	103	88	113	112	120	139	127	137	134	151
リスボン	98	100	102	114	107	129	112	151	151	149
ソウル	127	109	116	113	121	146	132	134	137	142
ブエノスアイレス	86	85	121	84	90	107	100	85	108	131
ブダペスト	82	86	94	110	109	102	102	112	114	128
香港	75	79	90	113	104	104	113	132	112	119
ダブリン	62	54	66	87	100	125	97	102	122	117
コペンハーゲン	87	106	98	104	148	128	114	153	121	115
アムステルダム	97	116	101	118	118	122	140	124	154	112
バンコク	70	71	49	59	99	99	82	112	123	110
東京	92	70	87	59	64	94	101	96	102	101
ストックホルム	82	102	91	87	126	90	100	92	108	97
ローマ	79	94	93	109	115	130	124	105	105	96
モントリオール	61	57	58	62	67	69	55	86	78	96
ブリュッセル	73	86	102	102	120	120	132	135	108	90
ワルシャワ	43	40	36	78	50	71	68	72	76	89
ヘルシンキ	68	68	69	70	103	80	94	82	99	87
北京	97	139	142	132	134	136	123	113	129	81
台北	61	79	111	104	99	96	115	107	92	76
アテネ	75	70	70	69	56	58	95	96	80	76
シドニー	65	62	90	52	89	98	83	92	70	76
リマ	38	42	47	57	55	71	67	80	79	74
オスロ	38	55	54	55	75	57	64	72	72	73
トロント	44	41	48	51	52	66	59	65	58	73

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には 2018 年 11 月時点での暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

都市別 国際会議の開催状況 ② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本の4都市が上位30都市入り —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2017年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内での都市別で見ると、日本の都市では東京(101件)、京都(46件)、名古屋(25件)、札幌(24件)が入り、上位30都市の開催件数の中で日本の都市が占めた割合は11.9%であった。

図表2-12 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2008年~2017年) <2017年上位30位を抜粋>

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
シンガポール	101	86	148	153	150	173	143	160	159	160
ソウル	127	109	116	113	121	146	132	134	137	142
香港	75	79	90	113	104	104	113	132	112	119
バンコク	70	71	49	59	99	99	82	112	123	110
東京	92	70	87	59	64	94	101	96	102	101
北京	97	139	142	132	134	136	123	113	129	81
台北	61	79	111	104	99	96	115	107	92	76
シドニー	65	62	90	52	89	98	83	92	70	76
メルボルン	41	38	54	63	57	58	66	53	59	67
クアラルンプール	65	75	79	74	84	70	85	78	70	65
上海	71	55	84	89	74	87	95	68	84	61
ニューデリー	37	34	45	41	53	43	40	45	43	59
京都	42	38	43	40	65	48	52	49	58	46
マニラ	34	31	28	30	42	39	36	51	47	42
バリ島	30	24	44	33	56	54	45	44	45	40
マカオ	17	16	18	13	14	19	23	25	36	39
濟州島	31	32	32	42	40	44	47	45	33	37
釜山	28	13	19	27	27	30	33	32	32	33
ブリスベン	20	33	28	25	37	25	45	31	35	29
ホーチミン	11	11	10	15	23	13	21	14	13	29
名古屋	13	12	8	6	13	14	11	17	18	25
札幌	18	12	16	12	18	16	22	18	22	24
オークランド	20	18	14	26	24	20	19	27	33	22
西安	8	21	13	20	18	15	24	14	22	22
ムンバイ	9	12	12	14	24	22	12	18	20	22
広州	16	19	14	7	12	16	18	21	19	22
チェンマイ	9	18	5	19	20	12	14	16	21	21
高雄	11	16	14	23	18	13	26	14	21	19
ハノイ	23	28	29	6	20	31	24	26	19	18
杭州	16	7	15	25	23	25	19	35	17	18
ゴールドコースト	10	13	13	8	9	8	18	15	10	18

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」

注：図表2-12で取り上げた「アジア」の領域は、北東アジア、東南アジア、南アジアのみに限定しており、中央アジア、コーカサス、中東は含まれていない。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には2018年11月時点での暫定値を掲載した。

ICCA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成